

月

2024.5

Vol. 11

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

信



©SASEBO

西海国立公園 長串山公園

2023-2024年度
国際ロータリー第2740地区
ガバナー 緒方 信行



2023 - 24 年度 国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

index

ガバナーメッセージ.....	1
第7・第8グループ合同IMのご報告	4
島原ロータリークラブ創立60周年記念報告.....	5
福江ロータリークラブ創立60周年記念報告.....	6
伊万里西ロータリークラブ創立50周年記念報告.....	7
佐賀大和ロータリークラブ創立30周年記念報告	8
2024学年度米山記念奨学カウンセラー・奨学生オリエンテーション	9
10年前の米山記念奨学生を訪ねて	10
地区補助金を活用したフィリピンケソン州農地視察について.....	11
2024年2月会員数・出席報告	12
新会員紹介.....	13
寄付者紹介.....	13
私の国際大会・編集後記.....	裏表紙

表紙説明 「西海国立公園 長串山公園」

標高234メートルの長串山に広がる公園からは、北九十九島と平戸島を一望できる景色が臨める。4月から5月にかけて、昭和44年から植栽された久留米つつじ、平戸つつじなど10万本のつつじが色鮮やかに花開き、青い空と青い海、そして緑の島々に映える様は絶景。

Governor's Message



ロータリーは我々に 何を教えてくれたのだろうか？

2023-24年度 第2740地区 ガバナー 緒方 信行

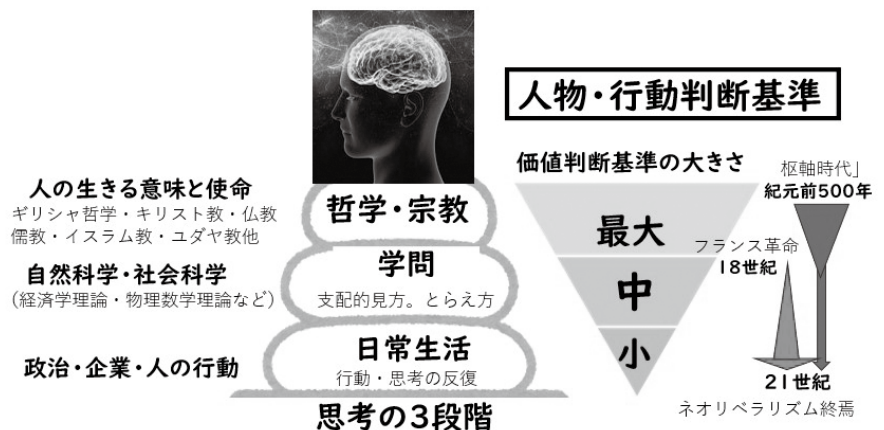
そろそろ、2023-2024年度も終盤に迫っています。1年を振り返って、言い残したことを皆さんにしっかり伝えたいと思います。それは“ロータリーの究極の魅力”についてです。

ロータリーの究極の魅力とは、難しく言えば、“ロータリーには哲学がある”ということです。具体的に言えば、“ロータリーには奉仕の理想と4つのテストがある”ということです。4つのテストが哲学か？そのとおりです。後半でその理由を説明します。まずは、なぜ、哲学があることがロータリーの魅力になるのか、説明しましょう。

注；ここで述べる哲学とは狭い領域の哲学という学問ではなく、宗教、倫理、道徳を同義語としての意味でとらえる広義の哲学です。広義の哲学とは、古代哲学から宗教が派生し、同時に宗教においても生活の指針を示す倫理、道徳が説かれたものを言います。

■思考の場の3つのレベル；価値判断基準

人間が社会生活していくうえで、いろいろなことが起きます。そのたびに判断、決断が求められます。その判断が人生や社会の方向性、或いは結果を決めるといっても過言ではありません。どんな行動を取る場合であっても、その行動を取る判断をするための根拠を常に考えているはずで。下図をご参照ください。判断を決める思考の場には3つのレベルがあります。1つ目が日常生活レベル、2つ目が学問レベル、3つ目が哲学レベルです。価値判断基準の大きさは日常生活<学問<哲学の順であり、したがって、物事の価値判断をする場合、もっとも大きな意味を持つのは哲学ということになります。



1つ目の日常生活レベルは普段 動作や行動する上で判断する際の基準で、何気なく場当たりに判断、行動しているのが実情でしょう(前頁図最下段)。

2つ目のレベルはパラダイムと言われる学問のレベルです。世界の職種は、例えば政治学、経済学、物理学、数学、医学などの学問体系であらわされています。世の中の職業はこれらの学問体系により動かされており、専門領域の知識や技術などが求められ、研修も必要です(前頁図中段)。

最後に3つ目のレベルは、哲学のレベルです。哲学とは人生の意味と使命を論じる学問です。20~21世紀にかけて、哲学を人間の判断行動に用いることに関心が薄くなっています。前出した注で述べた広義の哲学であり、道徳教育や寺子屋教育、地域社会に昔から存在した倫理です。20世紀初頭まで地域社会では大切にされてきたのです。子どもの時、大人から「悪いことをしたら、お天道様が見ているよ!」と諭された経験がある人もいるかもしれません。もし哲学に基づかない行動をしたならば、価値判断に矛盾が起きやすく、責任が大きい仕事での価値判断の間違ひは、組織崩壊に繋がり兼ねないことさえあります。したがって、価値判断の最高レベルが哲学ということになります(前頁図最上段)。

次いで3つの思考レベルによる価値判断が社会に及ぼす影響を考えてみます。

■思考の価値判断基準が社会に及ぼす影響

1つ目の日常生活レベルでの価値判断の誤りは、結果的には失敗や後悔に繋がります。新自由主義経済の流行は、社会的規範をおろそかにし、残念ながら、現代の社会生活では「今だけ、自分だけ、お金だけ」と利己的な判断をしている場合さえあります。このレベルでは個人的失敗や損失で済むレベルです。

2つ目の学問体系レベルでの価値判断の誤りは、より深刻な事態を招きます。

近年、哲学を忘れた自然科学を正しいと信じる自然科学至上主義が過ちを犯しているようなケースも見られます。例をあげましょう。人類

は核を制御できる技術をいまだ持っていません。これは優秀であるはずの物理学者が核開発をする際に「安全に制御できない核兵器を開発することが科学者として正しいのか?人類に不幸をもたらすのではないか」という「人の生き方の価値判断」の哲学思考をしないまま、核開発を行い原子爆弾を作りました。現在、何千発という核兵器が作られ、人類に不幸、不安をもたらしています。2023年時点で人類終末時計は残り90秒です。

AIにしてもそうです。AIは確率統計学による複雑な多層のアルゴリズムで組み立てられた深層学習で動いています。しかし、人類は未だ「意識の生物学的メカニズム」とは何か?を解明できていません。もし、その意識が組み込まれたAIをAI技術者が開発すると、ロボットが人類を支配するという、人類には思いもつかない危機をもたらすことになるのではないか?という哲学的判断を十分にしないまま、AIの開発、利用が加速しています。Chat GPTを安易に使って良いものでしょうか? もう一つ、政治の世界でもそうです、政治家はギリシャ、ローマの時代に始まる政治哲学すなわち、賢人政治から、民主政治まで試行錯誤を繰り返してきました。ところが、現在人類が2000年以上かけて作り上げてきた道徳、倫理基準に基づく政治哲学を忘れたために、“今だけ、自分だけ、お金だけ”の衆愚政治に陥っています。

環境破壊についても人類は命の源である大切な自然保護を忘れ、“今だけ、自分だけ、お金だけ”の経済優先の為に、子孫のことを忘れ、資源を使い果たし、いつの間にか自然破壊、気候変動がどんどん進行しています。

最後に、3つ目の哲学レベルの価値判断についてです。現代社会ではすべての学問には「人の生き方と使命」を教えてくれる哲学が必要であるにもかかわらず、哲学が軽視されつつあります。ギリシャの哲学者プラトン、アリストテレス、キリスト教が西洋哲学を、老子、孔子、ヒンズー教、仏教が東洋哲学を作りました。2つの潮流が現代までの世界の基本原理を動かしてきました。17世紀以前において人々は哲学に基づいた

宗教を価値判断のよりどころとして生きていました。ところが、近年、産業革命、資本主義の発達で、宗教が薄れてきて、日常生活のレベルでは物質至上主義になり、“今だけ、自分だけ、お金だけ”の生き方をするようになり、すべての価値判断基準が薄っぺらなものとなりつつあります。

1つ目の日常生活レベル、2つ目の学問体系レベルにおいても、3つ目の哲学レベルの思考が必要です。以上のような哲学なき思考による行動が人類を滅ぼすことになる可能性があることに近代の賢者は気づいています。

そこで、ロータリーに目を向けてみましょう。ロータリーは人類を救えるでしょうか？ロータリーには哲学があります。ロータリー哲学はポール・ハリス、フレデリック・シェルドン、ガイガン・デッカー、ハーバート・テラーらが100年以上の歳月をかけて作り上げてきたものです。そして、現在世界140万人のロータリアンがロータリー哲学を学び、実践しているのです。

ロータリーでは人類の危機に関して2つの哲学的解決法を持っています。ロータリーでは人が奉仕活動行動する前提となる価値判断基準として「奉仕の理念」があり、職業人は“言行はこれ（価値判断基準）に照らしてから”考えるべき「4つのテスト」があります。

「奉仕の理想」

人のことを思い、人の為に尽くすことです。

「4つのテスト」

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなの為になるかどうか？

ロータリー哲学が社会で実行されれば、企業の不祥事も政治家の不正も、地域社会でのいさかいもなくなるはずで、最近の企業の不祥事を起こした大会社の幹部がもし、“4つのテスト”に照らしあわせて判断・行動すれば、不祥事を起こすはずがなかったとロータリアンならば誰でも思うでしょう。ロータリー奉仕部門の7つの重点分野を動かすには勿論、ロータリー哲学が必要なのです。

すなわち、このロータリーでは哲学を実践することが、皆さんの行動の最高の価値判断基準と言えます。ロータリーの魅力はこの最高の規範を身に付けることが出来るということです。

最後に、ポール・ハリスは「アメリカで今、必要なものは、機械や装置を製作する原理ではなく、分別に富む健全な人生哲学である。」と述べています。（著書「ロータリーへの道」）

哲学者マルクス・ガブリエルは「人類は進歩しているのであろうか？今、環境破壊、食糧危機、戦争、AIによるシンギュラリティ出現、政治体制崩壊など人類が滅亡する方向に向かっている。今、人類を救える手段は哲学（倫理、道徳）の実践である。」と言っています。

まさにロータリーは100年以上続く、哲学の実践運動であります。ロータリーが世界を救うのです。これがロータリーの究極の魅力と言えるのです。

<参考文献>

- 1, 伊藤 貫;「自滅するアメリカ帝国—日本よ、独立せよ」(文春新書)
- 2, Henry Kissinger ; 「World Order」Penguin Press 2014
- 3, マルクス・ガブリエル; 「危機の時代を語る」丸山俊一NHK出版
- 4, マルクス・ガブリエル; 「欲望の時代を哲学する」丸山俊一NHK出版
- 5, マルクス・ガブリエル; 「新時代に生きる 道徳哲学」丸山俊一NHK出版2021
- 6, Josk Ortega; 「La rebellion de las masas(1930) 「大衆の反逆」白水社
- 7, 佐古亮尊; 「ロータリーの森を歩く」大村ロータリークラブ長崎新聞社 2005
- 8, ポール・ハリス; 「ロータリーへの道」成田ロータリークラブ 2011

第7・第8グループ合同IMのご報告

諫早多良見 RC 会長 南 健二郎

第7・第8グループ インターシティ・ミーティング (IM) を、2024年3月23日(土)ホテルグランドパレス諫早にて開催いたしました。私たちは、今回のIMのテーマを「継続と革新“いざ再始動”」とさせていただきます。これは、緒方信行ガバナーが地区運営方針に掲げられました「継続と革新の理想的バランス：活動の継続はロータリーの伝統を引き継ぎ、革新は絶えず変化する世界とともに我々も変化し続けなくてはなりません。」をもとに、ここ数年間経験したコロナ禍を通じ、これからのロータリー活動がどのように変化してゆくのかを学ぶ良い機会と考えたからです。そこで、あまり例を見ない各クラブの活動内容やクラブ自慢を動画やスライドで発表する報告形式のIMを開催いたしました。発表時間は1クラブ約10分、10クラブ第7、第8グループ認証順で発表していただきました。

内容は、クラブ紹介から始まり、海外での活動報告を動画で報告するクラブもあれば、年間行事や奉仕活動の様子、親睦活動の様子を写真や動画を交えて報告するクラブもありました。他のクラブがどのような活動をしているのかは、皆興味深く、睡眠学習している会員はいなかった様に思います。それぞれのクラブが様々な奉仕活動を通じて地域に貢献し、これらの小さな奉仕が世界に希望を生み出す第一歩なのだと感じました。

講評では、千葉副ガバナーから、今回の発表形式のIMを高く評価していただきました。懇親会では栗林パストガバナーの乾杯のご発声から始まり、諫早5クラブで担当している「鎮西学院大学ジャズアンサンブルローターアクトクラブ」による演奏がありました。「もってこーい！もってこい！」のアンコールで盛り上がり、会員の親睦も、より深まったと思います。最後になりましたが、ご出席いただきましたロータリアンの皆様、最後までお付き合いいただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



島原ロータリークラブ創立60周年記念報告

島原RC 会長 中林 政博

令和6年4月13日、島原市内ホテル南風楼で「島原ロータリークラブ創立60周年記念式典」を開催し、島原市長 古川隆三郎様はじめご来賓の皆様、国際ロータリー第2740地区 栗林英雄バスターガバナー、宮崎清彰バスターガバナーのほか、第7、第8グループガバナー補佐、地区補助金委員会委員長、地区副幹事、大村RC、大村北RC、大村東RC、島原南RC、諫早RC、諫早北RC、諫早南RC、諫早多良見RC、雲仙諫早南RC、佐賀RC、伊万里西RCの会長、幹事の皆様、姉妹クラブである小豆島RC（19名参加）の皆様がご来会くださいました。式典では、ご来賓の皆様から島原ロータリークラブのこれまでの活動の歴史や地域奉仕活動等について温かいお言葉をいただきました。

その後、創立60周年記念事業の報告、国際青少年交換留学生（島原RCがホストクラブ）のモレ・ジャスティンさんによる活動報告、最後に、島原インターアクトクラブが活動報告を行って式典が終了しました。

続いて懇親祝賀会が開催され、「島原7万石を踊る会」による踊りの披露、津軽三味線「FUGEN」の皆さんによる演奏で会場が盛り上がり、大いに親睦・友好を図ることができました。最後になりましたが、島原ロータリークラブ60周年記念式典（祝賀会）に参加していただきました皆様に厚く御礼申し上げます。当クラブは、今後も会員相互がより一層の絆を深めながら、先輩会員が築き上げた歴史と伝統、そして文化を継承し時代の変化に対応しつつ、誇りと謙虚さを持ったクラブとして活動して参ります。



福江ロータリークラブ創立60周年記念報告

福江 RC 会長 平村 和弘

私ども福江ロータリークラブは長崎北ロータリークラブをスポンサークラブとして昭和39年3月12日に創立し、5月4日に国際ロータリークラブの加盟が承認されました。

記念式典に先立ち、3月16日に記念植樹が鬼岳桜園にて行われました。今回の60周年事業として五島市への「玉夢桜」の寄贈とモニュメント設置が計画されていました。また、鬼岳桜園は福江ロータリークラブが創立10周年を記念して、造成し寄贈していたものです。50年の時を経て「その地」に植樹することが出来て、大変感慨深くうれしいものでした。また、玉夢桜はCO2削減効果も非常に高く、五島市のゼロカーボンシティ計画に合致するものです。また、記念式典当日4月13日のお昼には鬼岳桜園において、記念モニュメントの除幕式も執り行われました。

記念式典は13日午後5時から、国際ロータリー第2740地区 塚崎寛ガバナー代理、第9グループ天本俊太ガバナー補佐、第9、10グループ全てのクラブの会長・幹事の皆様等、多数のご来賓にご臨席賜り、厳粛に執り行われました。

その後、記念祝賀会が戸田博之60周年記念実行委員長の挨拶の後、塚崎ガバナー代理の乾杯のご発声により和やかに始まりました。会の終盤には全員が手を繋いで輪になり、「手に手つないで」を合唱、天本ガバナー補佐の音頭による万歳三唱でお開きとなりました。

60年間、故郷五島の発展の為にそれぞれの職業を通じて貢献してこられた歴代の先輩方に心から敬意を表するとともに、支えていただいた地域の皆様やロータリアンの仲間たちに感謝申し上げます。

今後も福江ロータリークラブは職業奉仕・社会奉仕を実践し、地域そしてクラブの発展に努めてまいります。



伊万里西ロータリークラブ創立50周年記念報告

伊万里西 RC 会長 井手 利紀

令和6年3月24日(日)の50周年記念式典・祝賀会は、伊万里市長はじめご来賓の方々、緒方信行ガバナー名代として千葉副ガバナー、隅田パストガバナー・各パストガバナーの皆様、辻ガバナーノミニ、山浦ガバナー補佐・各ガバナー補佐の皆様、村瀬地区幹事、各クラブの会長・幹事や多くの皆様にご来場を賜り、盛況に終了しました。緒方信行ガバナーからはメッセージなどお心遣いを頂戴しました。祝電も多数戴いております。会員一同、心より御礼申し上げます。

50周年の準備にあたり、「絆を深めて、新たな未来へ」をスローガンに掲げましたが、昨年6月に10名の退会者もあり、会員同士の繋がりも模索しました。

寄贈案内板の老朽化と、設置場所の国見台運動公園が今年10月の「SAGA2024国民スポーツ大会」の会場となることから、記念事業としてふたたび案内板を寄贈する運びとなり、市長の深浦様や市のご担当者様のお力添えを戴き、3月19日に除幕式を行いました。

式典では、九州大学大学院工学研究院環境社会部門生体工学研究室 准教授 清野聡子様より「海の自然共生の経済と人材育成ー伊万里にみるブルーエコノミーの条件ー」の題で、伊万里に生息するカブトガニを取り巻く海洋の現状、国際的な保護の流れ、保護のための教育や人材育成についてご講演を賜りました。

祝賀会では、当クラブ会員のコーラスでお客様をお迎えしました。ほぼ初心者でしたが、音楽の墨谷先生のご指導の下、練習を重ね、合唱の喜びを経験致しました。お耳汚しもあったかと存じますが、お褒めのお言葉も頂戴し、一同、大変喜んでおります。

受け継いだ歴史を次の50年へ。皆で力を合わせていく所存です。伊万里西RC「馬車クラブ」へ、今後とも変わらぬお力添えを賜ります様、心よりお願い申し上げます。



佐賀大和ロータリークラブ創立30周年記念報告

佐賀大和 RC 会長 古賀 伸忠

令和6年3月30日(土)、ホテル龍登園に於いて創立30周年記念式典を開催いたしました。年度末でご多用の中、坂井英隆佐賀市長、国際ロータリー第2740地区 千葉憲哉副ガバナーをはじめ、ロータリアンの皆さまや地元の関係者各位など、ご縁のある皆さま、総勢145名にご出席いただき、盛大に執り行うことができました。

佐賀大和ロータリークラブは1994年2月22日に佐賀北ロータリークラブをスポンサーとして発足しました。昨年、他界された初代の堤和之会長を中心に、ロータリークラブでこの大和を元気にしたいとの強い思いで、賛同する会員を集めることに大変苦労されたと聞いております。

記念式典の前には観桜茶会を開催しましたが、当日は満開の桜の下、晴天に恵まれ、多数ご参加の皆さまに茶会を楽しんでいただけたと思っております。

また30周年の記念事業として、大和、富士、三瀬地区の小中学校11校に必要な備品等をヒアリングし、音響機器他、事務用品など総額150万円の備品の寄贈をいたしました。2校の校長先生には代表してご参加いただき、式典の中で目録贈呈を行いました。ある小学校にパーテーションの贈呈式を行うために訪問し、教室を拝見させていただいた際、その小学校では最近急増している個別学習や個別支援の場で必要とのことでした。寄贈する前は予算の関係もあり、段ボールやコンパネを使った不安定な壁を手作りされていました。普段は目に見えない色々な事情があることをロータリークラブの活動を通して気づくことができました。

祝賀会では地元出身の北原香菜子さんの琵琶演奏で始まり、和やかな雰囲気の中で参加いただいた皆さまと交流を深めることができました。最後には恒例の「手に手つないで」を歌い、無事に終了となりました。



2024学年度米山記念奨学カウンセラー・奨学生オリエンテーション

米山記念奨学委員会 委員 青野 悠 地区(長崎中央RC)

2024年4月6日(土)東彼杵総合会館において、国際ロータリー第2740地区2024学年度米山記念奨学カウンセラー・奨学生オリエンテーションが開催されました。

当日は、午前中から奨学生向けのオリエンテーションを開催し、ロータリー米山記念奨学金制度についての説明などがなされ、奨学生には自らに課された使命、責任を十分に理解してもらいました。また、別室では、カウンセラー向けのオリエンテーションを開催し、その後、午後1時45分より、全体のオリエンテーション開催となりました。

奨学生にとっては、カウンセラーとの初めての対面であり、非常に緊張していましたが、カウンセラーの皆さまと対面し、会話を交わすことで、緊張はほぐれていったようでした。また、全体オリエンテーションでは、新規の奨学生に奨学生バッジが授与され、みな笑顔で奨学生バッジを受け取っていました。

さて、奨学生は、今後、お世話クラブの例会に出席することはもちろんのこと、他クラブの例会にも出席させていただき、卓話などを行うこととなります。ロータリアンの皆さまには、今後、ご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、是非お声掛けいただくなどして、温かくお迎えいただけると幸いです。皆さまとの交流は、必ずや、奨学生にとって何よりの財産になるはずですので、1年間、よろしくお願い申し上げます。



10年前の米山記念奨学生を訪ねて

諫早北 RC 国際奉仕委員長 矢野 京子

諫早北クラブでは、2013年～2014年度に米山奨学生のチェンさんの受け入れをしました。ウエスレヤン大学（現在の鎮西大学）の4年生の学生さんでした。当時からニコニコととても感じの良いお嬢さんだったことを記憶しております。

今回は長崎中央RCの本田文昭氏のご紹介でベトナムへ行き、栗林パストガバナー委員と共に10年後のチェンさんへの再会を果たすことができました。彼女は大学卒業後、日本企業へ就職し暫くは長崎勤務でしたが、転勤にて東京本社へ行き、東京の街で一人仕事に励んでおりました。しかし長崎にいる時のようにロータリアンに囲まれ守られていた生活から一変。東京での孤独に耐えかね祖国ベトナムへ帰国。現在は、ベトナムで日本の企業の仕事の請け負うWEBデザイナーとして活躍していました。

私達が再会した前日には「ベトナム南米山学友会創立記念式典」にも参加し、学友会の友人達と久しぶりの談笑で笑顔を取り戻していたようです。これからもベトナムと日本の架け橋となり活躍して下さることを祈念致しております。



地区補助金を活用したフィリピンケソン州農地視察について

佐世保北 RC 奉仕プロジェクト社会奉仕委員会 委員 小西 研一

2024年4月4日～9日、フィリピンのケソン州パグサンガハンの農地を視察に、松田信哉会長と共に行ってきました。パグサンガハンはマニラ中心部から約330キロ、車で片道9時間ほどかかる農村です。現在、当クラブでは、フィリピンのマリキナウエストロータリークラブとグローバル補助金を活用した「ソーラー灌漑設備設置による貧困農民救済プロジェクト」を推進しており、設置予定地の現状把握、同地における農民の生活ぶりを確認するために、地区補助金を活用して渡航しました。

現在、パグサンガハンでは米作が行われていますが、完全に降雨に依存した農業が行われており、農民の収入は低い水準にとどまっています。過去にディーゼルエンジンで稼働するポンプで河川の水を汲み上げ、田への供給を行っていましたが、米の販売価格に比し、燃料代が高価で採算が取れず活用されなかった経緯がありました。

今回設置するポンプはソーラーパネルにより発電した電力により稼働するため、燃料費がかからず、農民たちの利益を確保できるだけでなく、乾季以外でも水の供給が可能なことから、これまでの一毛作から多毛作が可能になり、彼らの収入増に繋げることができます。さらには温室効果ガスの排出量削減にも繋がるといった多くの効果が得られることとなります。

今回の現地視察により、現行のポンプ小屋の設置箇所の変更の必要性や、毀損水路が所々、修繕を要する等、課題も確認されました。また、農民たちの家を覗くと、小さな子ども達が地べたに座り、少量のおかずで白米を食べている姿が見られました。このような農民たちの暮らしぶりを少しでも改善するため、同プロジェクトはなにがなんでも完遂しなければならない思いをあらたにしました。

農地の視察後は、現地農民たちが50名以上集まり、私達を歓迎してくれました。彼らの高い期待感をひしひしと感じながら同地を後にしました。



2024年2月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数			当該月			累計	
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会		増減
第1グループ	佐賀	4	79.9	80	9	81	10	0	1	-1	1
	小城	3	51.0	28	4	27	4	0	0	0	-1
	牛津	3	65.6	31	0	31	0	1	0	1	0
	多久	4	75.0	35	6	34	6	0	0	0	-1
	佐賀大和	3	75.6	26	5	26	5	0	0	0	0
	小計		69.4	200	24	199	25	1	1	0	-1
第2グループ	佐賀西	3	81.9	41	4	41	4	0	0	0	0
	佐賀北	4	60.8	45	3	45	3	0	0	0	0
	佐賀南	4	73.6	44	6	45	6	0	0	0	1
	神埼	4	79.1	38	4	39	4	0	0	0	1
	佐賀空港	3	62.7	17	0	17	0	0	0	0	0
	小計		71.6	185	17	187	17	0	0	0	2
第3グループ	有田	3	57.0	31	2	31	2	0	0	0	0
	武雄	2	73.3	42	3	43	3	0	0	0	1
	鹿島	4	90.0	30	4	30	5	0	0	0	0
	嬉野	3	78.1	26	1	26	2	0	0	0	0
	大町	4	64.1	16	0	16	0	0	0	0	0
	太良	4	91.7	9	0	9	0	0	0	0	0
	小計		75.7	154	10	155	12	0	0	0	1
第4グループ	唐津	3	87.8	54	0	58	0	0	0	0	4
	伊万里	3	79.8	28	0	28	0	0	0	0	0
	唐津東	5	81.7	49	0	49	0	1	0	1	0
	唐津西	4	85.5	27	0	27	0	1	1	0	0
	伊万里西	4	80.0	30	2	34	4	0	0	0	4
	唐津中央	3	90.2	35	5	34	5	0	0	0	-1
		小計		84.2	223	7	230	9	2	1	1
第5グループ	佐世保	4	82.8	71	0	72	0	0	0	0	1
	平戸	4	73.9	22	4	23	4	0	0	0	1
	北松浦	4	89.8	23	1	23	1	0	0	0	0
	佐世保西	4	72.6	23	4	22	5	0	0	0	-1
	松浦	4	89.0	25	0	26	0	0	0	0	1
	小計		81.6	164	9	166	10	0	0	0	2

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第6グループ	佐世保南	3	100.0	61	2	60	2	0	0	0	-1
	佐世保東	4	74.0	24	0	26	0	0	0	0	2
	佐世保北 (衛星クラブ13名)	3	87.0	55	5	53	4	0	0	0	-2
	佐世保中央	4	93.4	51	2	53	3	0	0	0	2
	佐世保東南	4	66.0	26	0	28	0	0	0	0	2
	HTB 佐世保	4	83.7	22	3	24	4	0	0	0	2
		小計		84.0	239	12	244	13	0	0	0
第7グループ	大村	4	83.8	40	4	40	4	0	0	0	0
	島原	4	81.4	30	3	31	3	0	0	0	1
	大村北	4	79.8	24	1	24	1	0	0	0	0
	島原南	3	57.4	14	1	18	3	0	0	0	4
	大村東	3	85.0	34	4	36	5	0	0	0	2
		小計		77.5	142	13	149	16	0	0	0
第8グループ	諫早	3	72.5	76	0	78	0	0	0	0	2
	諫早北	4	84.7	76	4	76	3	2	0	2	0
	諫早西	3	87.6	54	3	52	3	0	0	0	-2
	諫早多良見	4	83.6	28	1	30	3	0	0	0	2
	雲仙 諫早南	2	62.5	17	5	16	5	0	0	0	-1
		小計		78.2	251	13	252	14	2	0	2
第9グループ	長崎	4	86.8	54	1	62	2	0	0	0	8
	福江	2	95.5	28	0	27	0	0	0	0	-1
	長崎北東	3	83.5	36	2	37	2	0	0	0	1
	福江中央	3	100.0	17	1	18	1	0	0	0	1
	長崎西	3	76.3	36	1	36	1	0	0	0	0
	長崎琴海	3	77.8	7	0	7	0	0	0	0	0
		小計		86.6	178	5	187	6	0	0	0
第10グループ	長崎北	3	75.8	74	0	75	0	0	0	0	1
	長崎南	4	76.0	69	0	71	0	1	0	1	2
	長崎東	3	84.8	35	1	41	2	1	0	1	6
	長崎みなと	3	78.4	28	1	27	1	0	0	0	-1
	長崎中央	3	90.1	44	1	44	2	0	0	0	0
	長崎出島	3	90.0	73	9	73	10	0	0	0	0
	小計		82.5	323	12	331	15	2	0	2	8
55クラブ合計			79.4	2,059	122	2,100	137	7	2	5	41

* 上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は2023年7月1日から2024年2月末までの増減です。

新会員紹介

私たちの新しい仲間になりましたの方々を紹介します。

※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



牛津 RC

古賀 英樹 君
牛津街づくり(株)
推進室 室長



唐津東 RC

松本 鍵一 君
(株)松本内装
代表取締役



唐津西 RC

前田 隆一 君
西日本プラント工業(株)
玄海原子力総合事業所
事業所長



諫早北 RC

渡瀬 仁 君
(株)ワタセ
代表取締役



諫早北 RC

松尾 壮典 君
(株)西日本シティ銀行諫早支店
支店長



長崎南 RC

牧 旭 君
(株)サン・ホールディングス
執行役員 統括本部長



長崎東 RC

山口 まゆみ 君
(株)松翁軒
専務取締役

寄付者紹介

ご厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を記載いたします。

ロータリー財団

種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	宮崎 清彰	諫早北
	千葉 憲哉	諫早北
マルチプルポールハリスフェロー	鳥巢 維文	長崎
ポールハリスフェロー	米倉 学	多久
	中山 義一	長崎
ポリオプラス	溝口 尚則	佐世保

米山記念奨学会

種 類	氏 名	クラブ名	
メジャードナー	福元 裕二	佐賀北	
	小川 春彌	長崎南	
米山功労者マルチプル	木下 修一	唐津	
	樋口 勉	佐世保東	
	川崎 孝	長崎南	
	浦中 勝美	長崎南	
	本田 圭助	長崎南	
	梅本 義信	長崎南	
	永田 修一	長崎南	
	堀内 英俊	長崎南	
	杉田 佑保	長崎南	
	津田 尚幸	長崎南	
	濱本 好哉	長崎南	
	瀬戸口智彦	長崎南	
	米山功労者	吉武 直亮	佐世保西
		水頭 知美	諫早北
藤本 伸		長崎	
山崎 甫文		長崎南	
山下 肇		長崎南	
山田 晃	長崎南		
山田 勇治	長崎南		

米山記念奨学会

種 類	氏 名	クラブ名
米山功労者	東 晋	長崎南
	石丸 利行	長崎南
	伊藤 克樹	長崎南
	伊藤 正彦	長崎南
	岩永 浩昭	長崎南
	岩永 寛毅	長崎南
	諸熊 正文	長崎南
	諸岡 進	長崎南
	村山 清治	長崎南
	松本 一隆	長崎南
	松藤 章喜	長崎南
	尾上 徹	長崎南
	松尾 友平	長崎南
	星山 信一	長崎南
	藤井 勝也	長崎南
	濱崎 大輔	長崎南
	馬場 政隆	長崎南
	西村 邦俊	長崎南
	中牟田真一	長崎南
	中川 安英	長崎南
	谷川 任宏	長崎南
	瀬戸 信二	長崎南
	鈴木 元	長崎南
	大熊 稔幸	長崎南
	岡村 康司	長崎南
	梶村 龍太	長崎南
	川添 徳也	長崎南
末永 稔	長崎南	
米山功労クラブ	唐津ロータリークラブ	
	諫早北ロータリークラブ	
	長崎南ロータリークラブ	

ポリオ・ワンコイン BOX 報告

今月分 BOX 金額

合計 BOX 金額

122,236 円

2,671,715 円



私の 国際大会

雲仙 諫早南ロータリークラブ 千葉 まさこ

私が初めて国際大会に参加したのは、2010年に開催されたカナダのモントリオール国際大会でした。夫である憲哉がガバナーエレクトとして、大会参加への出席が必須で、仕方なく参加した、というのが正直なところでした。ところが行って見たら、まあまあ、楽しかった！空港から会場へ行く電車の中で、アフリカのロータリアンに話しかけられ、片言ながらも話が弾みました。その方は、夫の名前であるKENYA（憲哉）を、ケニヤと読んだらしく、ケニヤ出身か?!と聞かれ、主人と笑いました。ケニヤ出身ではない理由をうまく説明できませんでしたが、日本人であることを伝えることはできました。

国際大会では、会長エレクトが次年度のテーマを発表した後、多くの国がそれぞれのお国柄をアピールするイベントが繰り広げられ、大変、華やかでした。ここにいる人たちは、ロータリーに入らなければ、触れ合うこともなかったはずの方々だと思い、不思議な気がしました。半端な語学力を恥ずかしがらず、話そうとする勇気さえあれば良いとは感じつつも、もっと学びたいと思いました。



編集後記

ロータリー年度も残すところ1ヵ月となりました。周年を迎えるクラブも多く、記念報告が多く寄せられています。それぞれの地域の特色ある式典が大盛況のもと行われ、次の10年に向けた各クラブの勢いを感じます。次号も皆さまのクラブの活き活きとした活動の様子を掲載してまいります。

国際ロータリー第2740地区
ガバナー事務所

〒857-0874 佐世保市京坪町2-3 Nビル2階
TEL 0956-80-3148 FAX 0956-80-3164
E-mail ri2740ogata@beatasc.jp
URL <https://rotary2740.jp/>

WEBサイト▶

